

## 海外安全対策情報（平成28年度第1四半期）

### 1. 社会・治安情勢

平成28年1月、当国政府は、ガソリン価格に対する政府補助金の削減を決定・実施されたが、これに対するデモ・集団示威行為等は確認されておらず、当地社会情勢は、引き続き安定しているものと認められる。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 概要

ア ソーシャルメディアを通じて年少者を対象としたハラスメント事案が多発しており、いたずら目的で呼び出したり、強姦被害も報告されているとして、警察当局が注意喚起を発している。また、携帯電話を利用した詐欺事件が増加傾向にあるとして、同様に警察当局が注意喚起を発している。

イ 邦人として特段の警戒を要するという情勢にはないが、報道上では殺人、強盗、強姦、放火、拉致監禁といった凶悪犯罪の他、窃盗、薬物犯罪等幅広い罪種が確認されている。

ウ 薬物事犯に関しては、関連する法律の改正を行い一層の厳罰化が進められているが、依然として検挙事例が多く報道されており、当国社会に対する薬物の浸透状況の深さが推察される。

#### (2) 邦人被害事案

発生なし。

#### (3) 邦人以外の被害事案

##### ア 殺人事件

Soharにおいて、密造酒の販売を巡り、売り手と客との間でトラブルが発生し、同売り手を刺殺したアジア国籍の者1名を逮捕。(1/28付)

##### イ 強盗事件

Shinasにおいて、アジア人女性宅で同女にナイフを突きつけ、現金及び携帯電話を強取したオマーン人2名を逮捕。(1/19付)

##### ウ 強姦事件

Buraimiにおいて、外国人女性を強姦したアジア国籍の者5名を逮捕。  
(1/28付)

##### エ 放火事件

(ア) Soharにおいて、車両2台にガソリンを掛けて放火したオマーン人2名を逮捕。(1/26付)

(イ) Soharにおいて、ガソリンを使用して学校の職員室に放火した生徒5名を逮捕。(3/3付)

##### オ 窃盗事件

マトラスークにおいて、窃盗被害が連続発生。外国人女性旅行客が、混雑する店舗内で商品を見ていたところ、ファスナー付のカバン内にあった現金及び旅券在中の財布を盗難被害。また、店舗従業員のカバンが置き引き被害に遭うケースも報告されている。(2/4, 2/10付)

3. テロ・爆弾事件発生状況  
発生なし。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

Sur において、同僚であるアジア国籍の男性 1 名を身代金目的で拉致・監禁した 5 名（国籍不明）を逮捕。同男性は、Al Awabi において、国籍不明の 5 名に監禁され暴行を受けた上、携帯電話や貴重品を強奪された。その後、Sur に拉致され、再度監禁されていたが、その間、被疑者グループは、男性の家族に対して身代金を要求していた。（1/21 付）

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

具体的な脅威情報には接していない。

以上